

情報学で輝く
未来社会のデザイン



2025
9/20
Sat

受講料
無料

対面とオンラインの
ハイブリッド

時間／13:30→16:40 | 講演会(開場13:00)

閉会后、進学をお考えの方のためのQ&Aタイムを実施いたします。

会場／名古屋大学 東山キャンパス 全学教育棟中棟4階 SIS講義室

オンライン／Zoom使用(ウェビナー) お申込締切 9/17(Wed)

お申込みURL https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_YKfs-dfCR8ilH43PPiNUXA



[会場案内図]



東中 竜一郎

名古屋大学
大学院情報学研究科
知能システム学専攻
教授

講演時間

13:40→14:20

人間らしい対話AIの実現

ChatGPTをはじめとする対話AIが日常生活に浸透し、高度なやり取りができるようになった。さらに最近では、人間のような声で会話したり、移動しながら案内をしたりする対話ロボットも登場している。本講演では、急速に進化する対話AIがどのようにして「人間らしさ」を獲得しているのか、その技術と工夫について分かりやすく解説する。



鈴木 麗璽

名古屋大学
大学院情報学研究科
複雑系科学専攻
教授

講演時間

14:20→15:00

AI集団が創る社会の進化

ChatGPTをはじめとする生成AIが社会に浸透し、独自の社会や文化を生み出つつある。人間とAIがより良い社会を築くには、AI集団がどのような社会を創るかを理解する必要がある。本講演では、AI集団がどのように協力関係を築き、創造性を発揮し、文化を生み出すかをコンピュータ上の仮想世界を用いたいくつかの実験をもとに、進化の視点から紹介する。



鈴木 泰博

名古屋大学
大学院情報学研究科
複雑系科学専攻
准教授

講演時間

15:10→15:50

触覚・感性情報学の展開・触覚のDX化と応用

自然界では、多くのモノコトが広い意味での触覚を介して相互作用している。触覚を情報学として扱うため、楽譜のしくみを応用した「触譜」を提案し、その記述・設計・伝達を可能にする枠組みを構築してきた。これにより触覚のDXが進み、音楽や株価などのデータの触覚的表現や医療・ヘルスケアへの応用といった展開が実現しつつある。本講演では、こうした触覚・感性情報学の試みと、今後の展望について紹介する。

